

いじめの防止等の取組について（高校教育課・義務教育課・特別支援教育課）

「心のきずなを深めるシンポジウム」を開催しました！

～いじめを許さない学校・学級を目指して～

県教育委員会は、「心のきずなを深める月間（6月）」の重要な取組の一環として、6月14日（土）、熊本市火の君文化センターにおいて、「心のきずなを深めるシンポジウム」を開催しました。



開会行事の様子（進行も高校生スタッフで）

また、本年度のシンポジウムは、参加対象を昨年度までの小中学校から、高等学校及び特別支援学校まで広げるとともに、児童生徒の主体的な活動をより前面に出したプログラムで実施しました。

このことは、「熊本県いじめ防止基本方針」の策定を受け、学校において「いじめをしない」「いじめをさせない」「いじめに負けない」集団づくりを進めるため、「**本シンポジウムを参考例に、児童生徒による実効的ないじめの防止等の取組を各市町村・各学校で進めていただく**」というねらいをもって、工夫・改善を図ったものです。

（下の開催イメージ図を参照）

「心のきずなを深めるシンポジウム」を核とした児童生徒によるいじめ防止等の取組

☆ 「心のきずなを深めるシンポジウム」を参考例にして、児童生徒による実効的ないじめの防止等の取組を各市町村・各学校で進める。

熊本県いじめ防止基本方針

第2の1 いじめの防止等のために本県が実施する施策として
第2の2 いじめの防止等のために学校が実施すべき施策の参考として

Plan

平成25年度

- 「心のきずなを深めるシンポジウム」
- ①児童生徒による「いじめを許さない宣言文」の協議
- ②小中学校児童会・生徒会の実践発表
- ③学校の取組発表
- ④標語の発表等（対象は小中のみ）

- 県立は「高校生会議」
- ・SNS関係講話 ・実践発表
- ・各学校の取組についての班別協議・発表
- ・「宣言文」の提案、採択等

Do

平成26年度

「心のきずなを深めるシンポジウム」

平成26年6月14日（土）
火の君文化センター

- ① 児童会生徒会の「いじめを許さない行動計画・指標」に関する協議（小中学生の部・高校生の部）

※ 昨年度、発表（採択した「いじめを許さない宣言文」を具体的な取組につなげるため、①いじめの防止、②いじめの早期発見、③いじめへの措置の視点で、行動計画・指標を協議する。
キーワード：どれから取り組むか、どこまで取り組むか。（優先順位と項目数を協議）

- ② 児童会・生徒会の取組の発表（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校）
- ③ 「心のきずなを深める月間」標語の発表等（対象を小中学校、高等学校、特別支援学校へ広げて実施、進行等に高校生スタッフを起用）

Check・Act

平成27年度

- 「心のきずなを深めるシンポジウム」（方向性として）
- ①児童生徒の立場から「いじめ防止基本方針」の見直しへ提言をするような活動はできないか（検討中）
- ②児童会・生徒会の実践発表
- ③標語の発表等
- ※ 適宜、児童生徒の活躍の場を工夫する。（対象は小中高特支）

副次的な
・学校、家庭、地域、関係団体等との連携・地域ぐるみでいじめ防止に取り組む気運の醸成

心のきずなを深めるシンポジウム

県立学校

Do 各高等学校等で
☆生徒会による行動指標の修正（各学校版に）

Check いじめの防止等の実践

熊本県いじめ防止「高校生会議」
平成26年12月8日（土）
県庁地下大会議室 予定
・行動指標の達成度を検証＋SNS関係の活動
学校いじめ防止基本方針の具現化

市町村教育委員会

※各市町村の判断により

Do 市町村単位で
☆シンポジウムを参考とした児童・生徒によるサミット等を開催

Check いじめの防止等の実践

市町村いじめ防止基本方針の具現化

※各学校の判断により

Do 各小中学校で
☆シンポジウムを参考とした児童・生徒集会（総会）等を開催

Check いじめの防止等の実践

学校いじめ防止基本方針の具現化

開催イメージ図

当日は、教育行政・学校関係者、保護者、児童生徒合わせて約630人が見守る中、県内の児童生徒代表（小中学生、高校生）が、「いじめを許さない行動計画・指標」



ステージ上での協議の様子（中学生）

を作ったり、阿蘇市立小中学校、県立熊本西高等学校、県立松橋支援学校の児童生徒がいじめの未然防止に向けた取組等を発表したりしました。

当日御出席いただいた皆様には、当日の児童生徒たちの活動の様子を復講していただき、児童生徒自らがいじめの未然防止を進めていくために、どのように取り組んだらよいか、各管内、各市町村、各学校等で御検討いただければと考えております。

【問い合わせ先】 高校教育課いじめ防止対策班
096-333-2720

熊本県小学生「いじめを許さない」行動計画

- いじめの起きない学校・学級にするために
 - 自分から素直に「ごめんなさい」「ありがとう」を言います。
 - 放送やスローガンづくりなどで、一人一人を大切に呼びかけをします。
- いじめに早く気付く、いじめを見逃さないために
 - いつもと様子が違う友達に声をかけます。
 - 学校ですれ違った人全員に、笑顔であいさつをします。
- いじめが起きてしまったら
 - 自分の問題として、学級で話し合います。
 - けんかやいじめを見たら、そのままにせず、注意したり誰かに伝えたりします。

熊本県中学生「いじめを許さない」行動計画

- いじめの起きない学校・学級にするために
 - 私たちは、いじめに対する意識を高めるために、集会などで宣言文を活用します。
 - 私たちは、仲間づくりのために交流・レクリエーションをします。
- いじめに早く気付く、いじめを見逃さないために
 - 生徒会は、いじめに気付くためにアンケートをします。
 - 生徒会は、生徒同士が相談し合えるように意見箱を設置します。
- いじめが起きてしまったら
 - いじめに気付いた人は、いじめられている人に寄り添い、声をかけます。
 - いじめに気付いた人は、先生や周りの大人に相談します。

熊本県高校生「いじめを許さない」行動指標

- いじめの起きない学校・学級にするために
 - 互いの個性を認め合います。
 - 一人一人の存在を大切にします。
 - SNSのコミュニケーションだけに頼りません。
- いじめに早く気付く、いじめを見逃さないために
 - いじめのサインを見逃しません。
 - 友人の言動の変化を見逃しません。
 - SNS上の変化を見逃しません。
- いじめが起きてしまったら
 - すぐに誰かに伝えます。
 - 一人にしないで寄り添います。
 - SNSで友達の変化に気づいたら、直接会って解決します。



別室での協議の様子（高校生）